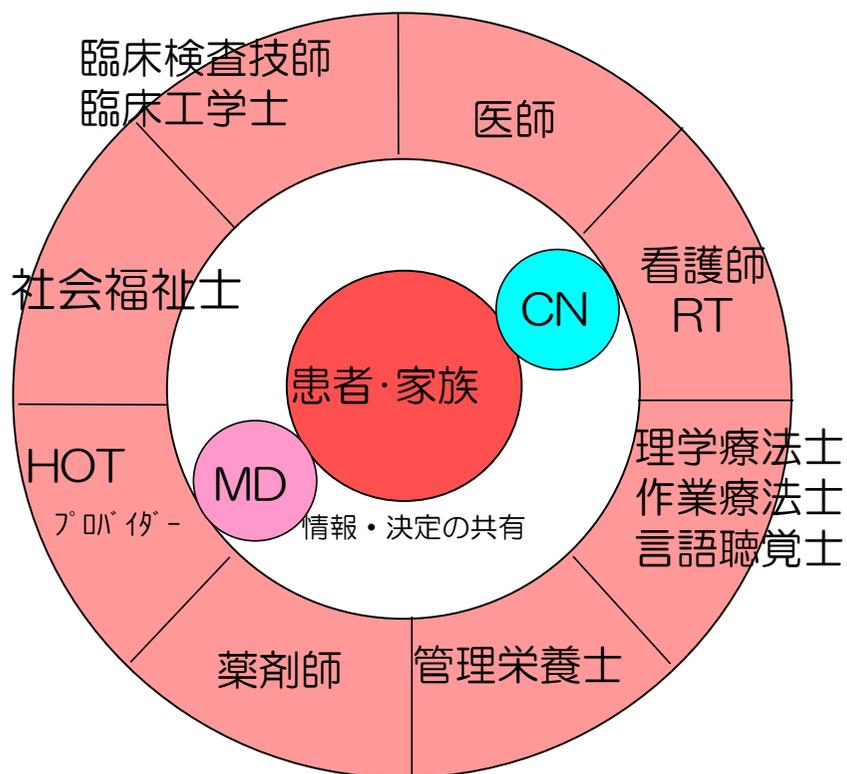


呼吸ケアサポートチーム（RST）の取り組み



チーム形態



呼吸器の病気によって生じた障害を持つ患者さんに対して、可能な限り機能を回復あるいは維持させることを目的に、患者さん自身が自立できるように、外来・入院期から医療チームの連携によって継続的に支援していきます。

(MD：医師 CN：看護師)

当院では、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの慢性呼吸器疾患に対して、早期から治療介入および呼吸リハビリテーションを導入することによって、増悪予防やQOL向上に成果をあげております。

（図1、2参照）

図1
呼吸リハビリテーションでCOPDの増悪が
予防されます（当院データ）

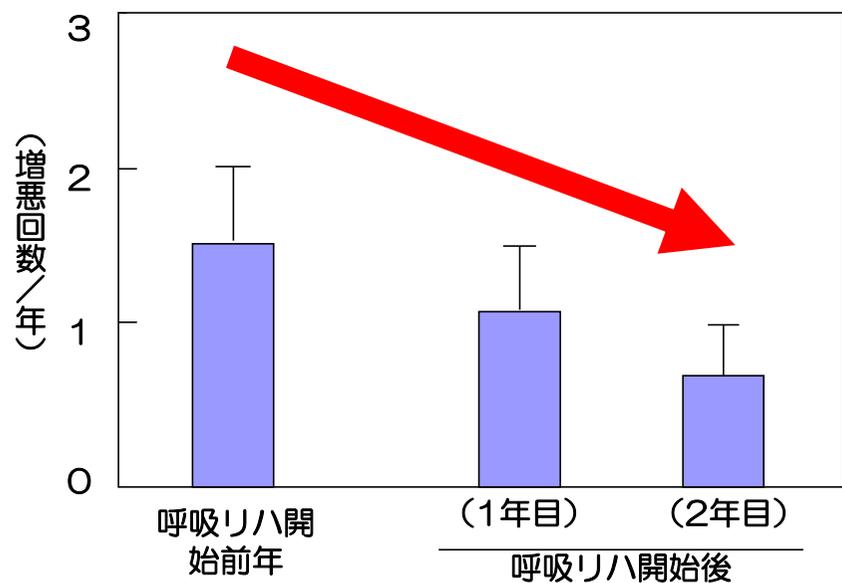
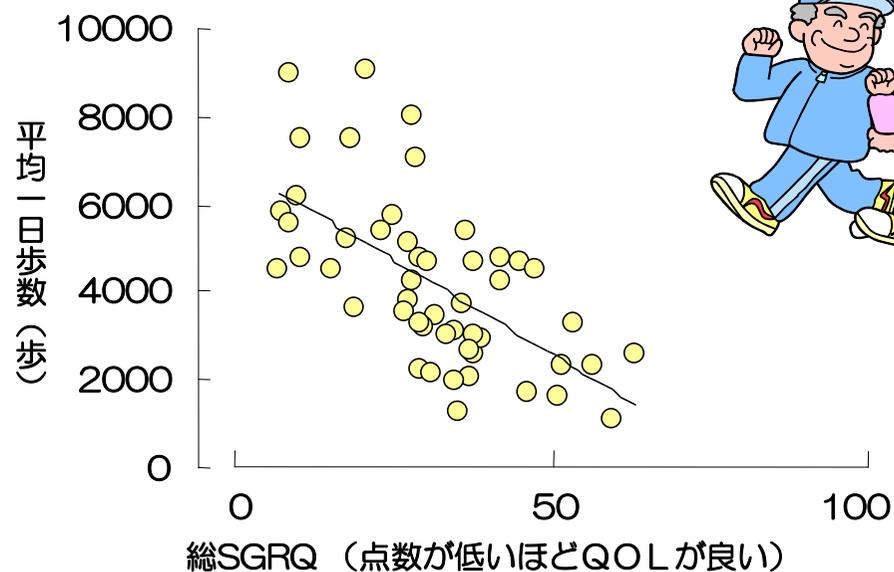


図2
歩数が多いほど生活の質（QOL）も良好です
（当院データ）



療養日誌：毎日の記録

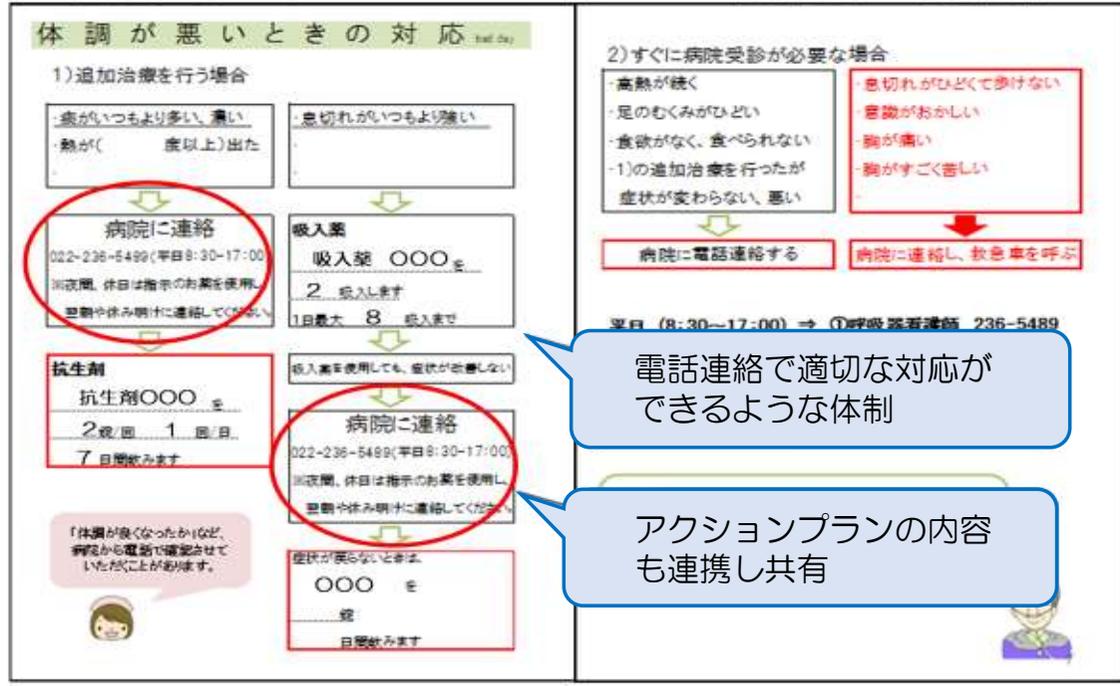
月/日	9/5(月)	9/6(火)	9/7(水)	9/8(木)	9/9(金)	9/10(土)	9/11(日)	連絡欄
体温(℃)	36.5	37.5	38.0	37.5	37.0	36.8	36.5	連絡欄 地域連携の情報交換
体重(kg)	52.5				52.0			
酸素飽和度(%)	96	96	95	95	95	96	96	
咳 いつも比べて	なし(弱)多い							
痰 いつも比べて	なし(弱)多い							
色	○	○	○	○	○	○	○	
その他症状 (例)足のむくみ、 寝が苦しい、動悸、 嘔吐、下痢、頭痛、 手足など								
0 全く感じない	○				○			
1 0.5歩程に感じ とても弱い		○						
2 弱い	○		○					
3 中くらい		○						
4 やや強い			○					
5 強い				○				
6 とても強い					○			
7 非常に強い						○		
8 最大限に強い							○	
歩数	4450歩	2532歩	1201歩	985歩	1089歩	1311歩	1311歩	活動性に関する項目
目薬	点眼薬							
追加治療	吸入薬 抗生剤	増悪時アクションプランに関する項目						
その日の活動や 気づいた事など								

呼吸リハビリをしている患者さんに配布している日誌です。患者さん、医療者が体調を把握できるようにしており、患者さんが利用している介護サービス事業所と連携を図れるよう連絡欄を用いるようにしています。

日誌内には、「体調が悪いときの対応」についても分かりやすく設定しています。

電話連絡を取り入れることで、早期支援ができ、適切な対応が取れるような対策を取っています。

増悪時アクションプラン（療養日誌内）



電話連絡で適切な対応ができるような体制

アクションプランの内容も連携し共有

多職種連携情報共有システム
バイタルリンクを使った連携

バイタル閲覧機能



連絡帳機能

【機能概要】
 体温、脈拍数、血圧、血中酸素飽和度、血糖値、体重などの「バイタル情報」および日常生活の状況なども、データを経時的にグラフで表示することで患者さんの変化を多職種間で共有することができます

【使用イメージ】
 当機能により、疾病管理に役立つことが期待されています

【機能概要】
 文字による情報共有に加え、下記の特徴があります

- ・ 「重要」フラグ機能
- ・ バイタルデータとのリンク
- ・ 電子ファイルの添付

【使用イメージ】
 重要度の高い情報をメール転送することにより、素早く共有することができます
 文章で伝えにくい内容や連携パスの情報など、写真や電子ファイルで添付することが可能です

情報共有をタイムリーに行うことを目的に、ICTを活用したシステムを運用しています。パソコンやスマートフォン、タブレット端末を用いて、在宅医療や介護従事者と当院呼吸器科医師、看護外来看護師間で患者の血圧や体温などバイタル情報をリアルタイムに共有することができる多職種連携システムです。



～いきいき呼吸健康クラブ～

呼吸器疾患の患者さんやご家族に対し、
講話や交流会、フライングディスク体験
を行っています。

フライングディスク体験



呼吸に合わせて、自分のタイミングでディスクを
投げるので、安全に楽しく、息切れが少なく楽しめ
ます。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺疾患など
の呼吸器疾患の患者さんや在宅酸素療法（HOT）を
行っている方におすすめのスポーツです。

患者交流会



病気についてどうすればいいか、困っていること悩んでいることなどを自由に話せる場です。お互いに語り合うことで、仲間づくりの場となっています。

肺の病気を持つ患者さん、ご家族向けの講話を開催しています。テーマは肺の病気と運動、栄養、呼吸リハビリテーションなど様々な内容があります。

講演・講義の様子



患者カンファレンス

- 毎週木曜日 16:45～
- 呼吸ケアサポートチーム（RST）にて検討



～患者カンファレンス目的～

下記対象の症例に対し、治療評価と今後の方針などを検討

- 1) 人工呼吸器使用患者（IPPV, NPPV, CPAP）
- 2) 在宅酸素（HOT）、人工呼吸（NPPV, CPAP）導入患者
- 3) 呼吸器症状のために病態が不安定な患者
- 4) 気管支喘息や、慢性呼吸器疾患急性増悪予防のセルフケア指導を要する患者
- 5) 呼吸リハビリテーション実施予定または、実施中の患者

RSTの介入はそれぞれの専門性を活かしたアプローチができます。
患者さんのQOL維持・向上のため取り組んでいます。